

<令和5年度>

アメニティホーム光都学園 事業計画

[重点目標]

貧困問題やケアリーバーの問題などが社会問題化する中、多様な子どもと家族を支援するため、施設機能の強化や養育の質の向上を図り、持続可能な施設運営を目指す。

※ケアリーバー：児童養護施設等を退所した者など社会的養護を離れた者。頼れる保護者がいないことで、退所後の生活に課題や不安を抱える者。

1 子どもの人権・権利擁護

子どもの人権・権利擁護についての職員の知識、認識を深め、日々の子どもの生活を大切にした養育を実践する。

2 養育の質の向上

ケアニーズの高い子どもに対する支援の充実を図る。また、多様な子ども等への支援のために、職員の専門性の向上を図る。

3 地域支援

地域における子育て支援の充実を図る。また里親支援やアフターケアなど、施設養育の連続性の中での自立支援の充実を図る。

ファミリーホーム「たけのこ」との連携

4 持続可能な施設運営

災害時等に対する危機管理体制の充実を図る。また、安定的な人材確保・人材育成を図る。

[事業計画]

職員体制

正規職員 22名 フルタイムパート職員 5名 パートタイム職員 4名
管理宿直員 5名 計 36名

入所定員及び利用見込み (R5. 1. 31 現在)

○入所定員 35名	(4年度平均入所率 96.9%)	5年度見込み入所率：95%)
○一時保護委託	(4年度延べ利用日数 300日)	5年度見込み日数：129日)
○ショートステイ	(4年度延べ利用日数 70日)	5年度見込み日数：46日)